ふくしま環境再生 Vol.7

「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。

環境省 福島地方環境事務所

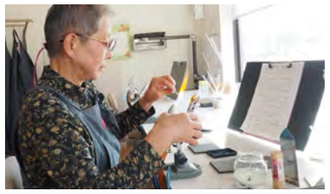
• 環境省からのおしらせ •

「ふくしまみちさがし情熱がっこう 南相馬Town Planning編」開催！

●12月7日（土）開催予定

今年の「ふくしま“みち”さがし」は、「情熱がっこう」という名で、担任と一緒に各地を巡り、除染後の今を「知る・見る」から、さらに理解を深めて、参加者の視点で情報発信していただくバスツアーです。
第3弾の『南相馬Town Planning編』は、避難指示が解除されて3年となる南相馬市小高区を訪れます。さまざまな人たちが再生に取り組んでいる地域で、お話を伺い、まちを歩きます。これからのまちづくりについて考えてみませんか。

双葉屋旅館


HARIOランプワークファクトリー小高

■開 催 日：2019年12月7日（土）
■集合場所：JR福島駅
西口バスターミナル
■集合時間：午前8時30分

小高交流センター

近日中に参加者の募集を予定しています。
詳しくは、ホープツーリズムホームページ（https://www.hopetourism.jp/）をご覧ください。

新宿御苑ふくしま菊フェスタ2019開催

環境省では、11月1日（金）～15日（金）に新宿御苑内日本庭園で行われている「皇室ゆかりの新宿御苑菊花壇展」に合わせて、福島県二本松市の職人が丹精込めて作り上げた「菊人形」を展示します。
会場では、ふくしまのアンテナショップ「日本橋ふくしま館-MIDETTE（ミデッテ）-」をはじめ、二本松の隠れた逸品やこだわりの銘品などが勢ぞろいする物産コーナーも出展する予定です。
みなさまのご来場をお待ちしております。

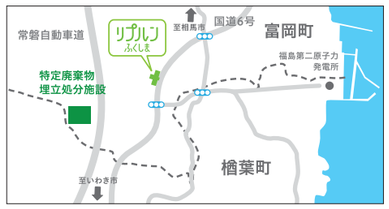
■開催日時：2019年11月9日（土）～10日（日）9時～16時
■ 場 所 ：新宿御苑インフォメーションセンター前（無料区域につき入場料不要）

環境省の情報発信拠点

●中間貯蔵工事情報センター

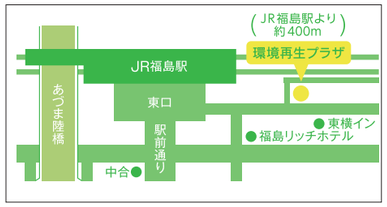
■所 在 地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑 256
■開館時間 10：00 ～ 16：00
■休 館 日 日曜日・月曜日、年末年始
（月曜日が祝日の場合は翌平日）
■電話番号 0240-25-8377
中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月バスによる中間貯蔵施設見学会（事前申込制）を開催しています。

●特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま

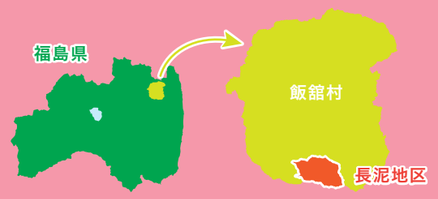


■所 在 地 福島県双葉郡富岡町
大字上郡山字太田 526-7
■開館時間 9：00 ～ 17：00
■休 館 日 月曜日、年末年始
（月曜日が祝日の場合は翌平日）
■電話番号 0240-23-7781
特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

●環境再生プラザ



■所 在 地 福島県福島市栄町
1-31 1 階
■開館時間 10：00 ～ 17：00
■休 館 日 月曜日、年末年始
（月曜日が祝日の場合は翌平日）
■電話番号 024-529-5668
福島の環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。



飯舘村は、阿武隈山系の北東部に位置し、豊かな自然に恵まれた美しい村です。てまひまおしまず、丁寧に、心を込めて、相手を思いやるという“までい”な生活文化が今も大切にされています。
飯舘村南部の長泥地区は帰還困難区域ですが、現在、特定復興再生拠点エリアの再生が進められています。
環境省では、このエリアの一部で、飯舘村で発生した除去土壌のうち、放射能濃度の低いものを再生資材化して盛土に活用し、汚染されていない土壌による表土の造成とあわせて実証事業を行い、農業の再生を図っています。

● 農地ができるまで（盛土実証）

ー 再生資材化 ー

長泥地区内の再生資材化施設で、除去土壌を土のう袋から取り出し、異物の除去、品質調整、放射能濃度による分別を実施し、再生資材を作ります。

ー 盛土の造成 ー

作った再生資材を盛土して、その上に汚染されていない土壌をかぶせ、農地を造成します。

ー 完成 ー

盛土完成後は、耕起、うね立てなどを行い、農地として整えた上で、資源作物などの試験栽培を実施しています。

● 現地のようす（試験栽培）

栽培エリア内：0.3～0.4μSv/h
（2019年6～2019年7月）

再生資材と非汚染土で造成した盛土の上では、12区画（1区画4m×4m）に分けて、ジャイアントミスカンサス、ソルガム、アマランサス、ヘアリーベッチをそれぞれ3区画ずつ栽培しました。刈り取り後、作物への放射性セシウムの移行や生育性などについての分析を行います。

ビニールハウス内：0.3～0.6μSv/h
（2018年11月～2019年7月）

仮置場で利用されていた遮へい土を使って盛土し、その上にビニールハウスを設置しています。ハウスの中では、地区住民によるヘアリーベッチなどを育ててそのまま耕して、緑肥として活用した土でのソルガムの栽培などのほか、トルコギキョウやカンパニュラなどの花き栽培を通じて、遮へい土での作物の生育を確認しています。

植物の栽培は、飯舘村長泥地区の住民と協働して実施しています。農地を耕す作業、草取り、種まきや苗の植え付け、花き類の剪定など、幅広い作業に、地元の方ならではの知恵をお借りして進めています。

● 長泥地区で栽培している植物について

● ジャイアントミスカンサス

学名：Miscanthus x giganteus

イネ科ススキ属で、竹のような茎を持つ多年生草。1シーズンで4メートル以上の高さにも成長し、一旦植栽すれば、20年間程度は無肥料で毎年冬季に収穫できるため、バイオマス原料として期待されています。

● ソルガム

学名：Sorghum bicolor

イネ科モロコシ属の一年草で、茎は直立し、草丈は1～4mを超え、夏になると茎の先端に3,000程の小さな穂を付けるトウモロコシに似た穀物です。日本には室町時代に中国から伝来したとされ、バイオエタノールの資源作物として注目されています。

● アマランサス

学名：Amaranthus

ヒユ科ヒユ属の一年草で、最大2.5m程度まで成長します。土壌に含まれるセシウムのうち、植物に吸収するセシウムの割合が高い資源作物です。花の名前の由来は「しおれない、しぼまない」という意味のギリシャ語「amaranthosアマラントス」からきています。

● ヘアリーベッチ

学名：Vicia villosa

マメ科ソラマメ属の一年草で、春には1.5mほどのツルを四方に伸ばし、うす紫色のきれいな花を咲かせます。雑草抑制作用が強く、緑肥としての活用や土壌保全の効果も期待できることから、果樹園の下草管理や休耕地の雑草管理に利用されています。

● トルコギキョウ

学名：Eustoma

リンドウ科ユーストマ属の一～二年草。葉っぱは灰緑色で、細い茎が直立、草丈は30～90cm、花は直径5～6cmになります。品種改良により、桃色、白色、淡黄色、八重咲き、半八重咲きなど多くの品種が生れ、花持ちが良いなどから和洋、冠婚葬祭問わず幅広く利用されています。リンドウと並んで震災前の飯舘村で産地化されていた品目です。

● カンパニュラ

学名：Campanula

キキョウ科ホタルブクロ属の多年草。風鈴草とも呼ばれ、小さな花をたくさんつける可憐な植物です。草丈は30cm～2mくらいで、釣り鐘型の3～8cmくらいの花を咲かせます。花言葉は、「感謝・誠実な愛・共感・節操・思いを告げる」などで、恩人や恋人へ感謝の意を示すプレゼントに利用されています。

Column! コラム

インタビュー「長泥地区を福島の希望の土地に」

長泥行政区 鴫原良友区長

村や県の復興に大きく貢献すると期待されている環境再生事業。長泥地区では、以前はひとつひとつの農地が狭かったところを、再生資材を活用して広く使いやすい農地にして、農業の再生を図ります。長泥行政区の区長として、10年、20年先にも長泥をつなぐことを期待して事業に取り組む鴫原良友さんに地区の再生にかける想いを伺いました。

――環境再生事業をどのように考えていますか？

色んな意見があることもわかってるがこれは夢のある事業。これを絶対に国には成功させてもらいたい。帰還困難区域の人たちに明るい生活ができるような、夢っていうか、希望の持てる事業っていうか。そんな再生をしてもらいたいと思うな。

――環境再生事業を成功させるためには？

早めにひとつ成功させ、まずこっちを向かせる。長泥に目を向かせる。だから何年もかかってまだこんなことやってんのかって言わっちゃら終わりだべや。まず新しい長泥を見てもらうんだ。

――将来的には他の地域からも人に来てほしいですか？

一番は長泥さ来て、コーヒー飲ませられるような、そういう場所をみんなでつくって。そしたら長泥で俺は根っこ張って寝泊まりしながら。毎日でねえぞ（笑）、ちょっと酒のみ、夢の話とか昔の話を聞いたり、みんなでいろいろな話をしたいと思うな。

――今どのような想いで取り組んでいますか？

すぐに次の世代につなぐっていうよりも、孫の世代。この5年、10年で軌道に乗せないと、なんとかしたいっていう人たちが駄目になっちゃうのよ。だから早めにひとつ成功させるってことが大事なんだ。道の駅（いいたて村の道の駅までい館）のために村の他の行政区の人たちが野菜作ってるけど、みんな楽しいんだと。今日はたくさん売れた、今日は駄目だったってお互いに言い合って。それで周りの地域同士で連絡も取り合ってな。お金をもらえて楽しめる、働ける雇用の場をつくるっていうのが大事だな。

ビニールパイプハウス